

ちば中学校二年一組では、説明的文章を読んで分かったことを、個人で整理する学習をしています。鈴木さんは、分かった内容を【表】にまとめ、隣の席の加藤さんと確認しています。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【説明的文章の本文】

①われわれが日常ちゃんと決まった意味があるように思っている言葉の中には、科学的にはその意味がきわめて①漠然としたものがかなりたくさんある。この数年来雪の研究を始めてみて気が付いたのであるが、その種の言葉の良い例が「粉雪」である。

②北海道では、冬の初めと終わり頃には牡丹雪も降るが、真冬の間はほとんど粉雪ばかりであるというような事がよくいわれる。この場合の粉雪というのは牡丹雪に対する言葉であって、それは雪片の状態の②名称とまず見るべきであろう。雪の結晶の中には普通よく写真に撮られているような六花状のものの外にいろいろ変わった形のもの、角柱状のものなど、非常にたくさん種類がある。

③これらの結晶が出来る場所の高度はいろいろな意味で重大な問題であるが、まだ充分によくはわかっていない。しかし少なくとも二、三千メートルぐらいのものである。これらの結晶はかなり落下速度の遅いものであって、六花樹枝状の結晶ならば一千メートルを落下するのに約一時間はかかる。それで高層で出来たこれらの結晶が落下して来る間に互いに③シヨウトツしてくつき合つて、地上に来る時には数百ないし数千個集まったいわゆる雪片となつて降って来るのである。これが普通は牡丹雪となる。風がなくて気温が高く雪の結晶が零度に近い温度にあると、触れ合った時たやすく付着するので雪片は大きくなるというふうに普通いわれている。しかし氷片が二つ触れ合った時にくつきついてしまうという現象はかなり面倒な問題であつて、その研究はあまりないようである。フアラデーがその指示実験をして見せたという話が、チンダルの『アルプスの氷河』の中にある。こんなつまらぬと思われるような仕事は案外やられていないものである。

④それはとにかくとして、気温の高い地方での降雪が大形の牡丹雪になることは事実であつて、土佐などではまれに雪が降るのであるが、その時は径十センチ以上の牡丹雪となつて降るといふ話を聞いたことがある。もつとも横浜での例で径十五センチくらいの雪片が降ったこともあるという記録もある。風がなくてあまり寒くない日、小さいうちわくらい

の雪片がひらひらと降って来る景色はよほどのどかで楽しい④ナガめであろうと思われる。

5 北海道の真冬の降雪はそれと反対に、きわめて引き締まった感じの日が多い。風のない夕方から小形の牡丹雪ぼたんゆきが降り始める日など、遠くの山も人家も薄鼠色うすねずみいろに消えて行くのを背景に、真つ白く音もなく積もって行く。そのうちに一陣の風が来ると急に雪の形が変わって、今度はきわめて細かい個々の結晶が、ホウ酸の結晶をまくように降って来る。何だか耳を澄ますと空でさらさらという音を立てているような感じである。こんな時の降雪の状態は粉雪ということになっているのであるが、この意味での粉雪は雪の結晶が個々の状態で降るといっただけであって、その結晶形は六花樹枝状ろっかじゆじようのものでも、角柱その他の形のものでもかまわないのである。

6 風が強くていわゆる風雪となると雪の状態はまた全然変わってくる。普通に吹雪という時の雪の中には、地上に積もった雪が風で吹き上げられたものと、本当に降って来たものとが混じっている。この後者の雪もまた粉雪と呼ばれるものであるが、この場合の粉雪は必ずしも結晶が個々の状態で降っているものとは限らない。

『粉雪』中谷 宇吉郎

【鈴木さんがまとめた表】

雪の結晶について	ウ						
		○「粉雪」の使われ方①	○真冬の間は殆ど粉雪ばかりである ○ ア に対する言葉 ○雪片の状態の名称	○「粉雪」の使われ方②	○耳を澄ますと空でさらさらという音を立てているような感じの時の降雪の状態	○「粉雪」の使われ方③	○吹雪の時の雪
		○雪の結晶は六花、いろいろ変わった形のもの、角柱状		○雪の結晶が個々の状態で降るといっただけ	○結晶形は六花樹枝状のものでも、角柱その他の形のものでもかまわない	○必ずしも結晶が個々の状態で降っているものとは限らない	

【ペア学習の様子】

加藤 筆者が例として取り上げている「粉雪」を、三種類に分類してまとめたのが、分かりやすくとてもいいと思うよ。一つ質問があるのだけれど、表の『粉雪』の使われ方③は、6段落に書かれているけれど、ここでは、吹雪の時の雪は二種類あると書かれているでしょう。

鈴木 そうだね。「後者の雪」と書かれてあるから、そこから二種類あると分かるよね。加藤 でも、表には「吹雪の時の雪」としか書かれていないから、二種類のうちのどちらかなと思って・・・。

鈴木 本文中に「後者の雪もまた粉雪と呼ばれるものであるが」とあるから、前者ではなく後者のことを指しているのだけれど、表の中に突然「後者の雪」と出てきても分かりにくいから、イと書こうと思うけれど、どうかな。

加藤 分かりやすく、いいと思う。ウの見出しを、どう書こうかと悩んでいる鈴木 ありがとう。一つ相談してもいいかな。

一 鈴木さんがまとめた【表】の中の、アにあてはまる言葉を、【説明的文章】の中から書き出さない。

二 【ペア学習の様子】の中のイについて、鈴木さんは本文中の6段落の中から十字で抜き出して、「後者の雪」の言い換えとしました。あてはまる言葉を書きなさい。

三 あなたなら、ウの見出しをどう書きますか。「〜について」という形で表現する前提で、「〜」にあてはまる言葉を六字以内で書きなさい。

について

四 『粉雪』本文の線部①から④の、カタカナは漢字に、漢字はひらがなに直さない。

- ① 漠然
- ② 名称
- ③ ショウトツ
- ④ ナガめ

一 牡丹雪

二

本
当
に
降
っ
て
き
た
も
の

三

雪
の
降
り
方

について

他に、降雪の状態（五文字）
粉雪の降り方（六文字） など

- 四 ① ばくぜん ② めいししょう ③ 衝突 ④ 眺